

自立活動（視覚障害教育）

令和5年度特別支援学校教員資格認定試験問題

自立活動に関する科目（Ⅱ）

（問1～問5 全5問）

時間 11：30～13：10（100分）

（受験上の注意）

- 1 監督者の「**始め**」の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子は、表紙を除いて**1ページ**です。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答は、論述式です。
- 4 解答用紙は、問別に5枚あります。はずしたクリップは再度使用するため、なくさないようにしてください。  
別に下書き用紙が**1枚**あります。  
全ての用紙に、
  - ①受験番号欄  
受験番号を記入してください。
  - ②氏名欄  
氏名を記入してください。
- 5 解答は、問と同じ番号の解答用紙に記入してください。  
解答用紙のおもて面に書ききれない場合は、うら面に記入してください。  
解答用紙の※欄は採点欄です。何も記入しないでください。  
筆記用具は、HBの黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- 6 この試験の解答時間は、「**始め**」の合図があつてから、**100分**です。
- 7 当該試験開始から終了までは、退出できません。ただし、用便や発病等やむを得ない場合には挙手をし、監督者の指示に従ってください。
- 8 監督者の「**やめ**」の合図があつたら、解答を直ちにやめ、解答用紙を上から**問1→2→3→4→5→下書き用紙**の順に並べ、左上をクリップで綴じ、回収されるまで、着席したままで待っていてください。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問1 盲児に対する触察の指導について、次の問いに答えなさい。

(1) 手で触れて対象物を理解しようとする過程、すなわち触覚による認知の特徴は、視覚による認知の特徴と大きく異なる。このことについて、両者を比較しながら説明しなさい。

(2) 触察の力を高める指導において留意すべき事項を、(1)との関連で述べなさい。

問2 歩行指導上の課題の整理、指導目標の設定、及び指導内容や指導方法の検討に当たり、的確に実態把握をすることが重要である。歩行指導につながる情報収集として、(1) 個々の実態に関する事項、(2) 体の移動能力に関する事項の観点から、把握すべき項目をそれぞれ挙げなさい。

問3 網膜色素変性症について、どのような病変が生じるか、どのような見え方の特徴があるか、その結果行動にどのような困難が生じるか、さらに心理的な対応としてどのようなことに留意する必要があるか述べなさい。

問4 小学校段階の遠用弱視レンズの導入期においては、どのような指導を実施すればよいか。配慮点も含めて説明しなさい。

問5 通常の学級に在籍している障害のある児童生徒が、合理的配慮を含む必要な支援を受けても、一斉学習の場面で実感・達成感を得られない場合、通級による指導について検討を行う必要がある。このことに関する次の(1)、(2)について、それぞれ説明しなさい。

(1) 「通級による指導」における特別の教育課程

(2) 視覚障害教育における「通級による指導」の主な指導内容・留意点